

第5回 テーマ 「担任が扱う文書や通信」

- ・期 日 平成23年11月18日(金)1、2時限
- ・受講者 学生 20人 (4年次19人、大学院生1人)
- ・学部教員 井門正美教授(教職実践演習実施委員会委員長)
佐藤修司教授、石黒純一教授
- ・担当教員 石橋研一客員教授、神居 隆特任教授、斎藤 孝客員教授

講義 1

石橋客員教授が、指導要録の性格や機能、通知表作成のねらいと取り扱い、金銭出納簿の記入の仕方などについて資料をもとに講義した。



講義 2

院生の田口瑞穂教諭(現職教員 = 神宮寺小)は、学級通信の作成や配慮点等について、小学校の学級通信の実際例を提示しながら具体的に紹介した。



演習「4月当初の学級通信の作成」

演習では、新年度の学級のスタートに当たり、担任としての思いを児童や保護者に伝える学級通信について、グループごとに作成して発表した。

リフレクションノートから

- ・教師としての心配事の一つが学級通信だったので、とても参考になった。4月までの間にアイデアをたくさん備えておきたいと思った。
- ・取り上げた書類や文書は、たくさんある仕事の中のほんの一部であろうと思った。少しでも知識を増やしておかなければならないと思った。
- ・学級通信はどの家庭にも平等に、子どもの様子を伝える手段であるので、子どものことをよく見て、伝えていきたいと思った。